（別紙様式３）

番　　　　　　号

年　　月　　日

文部科学大臣

　　　　　　　　　　　　殿

中国四国厚生局長

高等学校等設置者

福祉系高等学校等、特例高等学校等報告書

　標記について、社会福祉士及び介護福祉士法施行令第５条の規定に基づき報告します。

**福祉系高等学校等、特例高等学校等報告書**

１　施設の概要

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| （１）高等学校等の名称 |  | | | | | | | | | | |
| （２）高等学校等の所在地 | 〒　　- | | | | | | | | | | |
| （３）設置者 | 名　称 |  | | | | | | | | | |
| 代表者氏　名 |  | | | | | | | | | |
| 所在地 | 〒　　- | | | | | | | | | |
| （４）種類等 | 種　類 | | | | １学年  の定員 | | 学級数 | | １学級  の定員 | 修　業  年　限 | |
| 該当番号（　　）  （全日制・定時制・通信制） | | | |  | |  | |  |  | |
| （５）校長の氏名 |  | | （６）開設年月日 | | | |  | | | |
| （７）必置教員の人数 |  | | （８）実習施設の数 | | | | 実習Ⅰ | 在宅その他 | | | |
| 入所施設 | | | |
| 実習Ⅱ | 在宅その他 | | | |
| 入所施設 | | | |
| （９）実地研修の実施の有無 | 有　無 | | | （10）実地研修の施設数 | | | 在宅その他 | | | | |
| 入所施設 | | | | |
| （11）情報開示の状況 | ホームページによる公表 | | | | | （　有　・　無　）  【ホームページＵＲＬ：　　　　　　　　　　　】 | | | | | |
| その他の方法による公表 | | | | | 【情報開示の方法：　　　　　　　　　　　】 | | | | | |
| （12）専任事務職員氏名 |  | | （13）連絡先 | | | Tel: | | | | | |
| Fax: | | | | | |
| E-mail: | | | | | |

（注）　１　当該年度４月１日現在の状況を記載すること。

　　　　２　「（１）高等学校等の名称」には、指定を受けている課程・コース名まで記載すること。

　　　　３　２以上の課程を設置している高等学校等においては、本表を含め、すべて別様式とすること。

　　　　４　「（４）種類等」には、次の高等学校等の種類ごとに掲げる番号を記載するとともに、該当する課程の形態（全日制等）を「○」で囲むこと。

・　法第40条第２項第４号の規定による高等学校等であって、専攻科及び別科でない場合は「①」を、専攻科（修業年限が２年以上）の場合は「②」を記載する。

・　法附則第第２条第１項各号の規定による特例高等学校等であって、専攻科及び別科でない場合は「③」を、専攻科（修業年限が２年以上）の場合は「④」を記載する。

５　「（８）実習施設の数」における「在宅」には通所介護事業所・特定施設入居者生活介護事業所等が、「施設」には介護老人保健施設・障害者支援施設等が含まれること。なお、実習Ⅰ及び実習Ⅱの両方を行っている実習施設については、実習Ⅰ及び実習Ⅱのいずれにも計上すること。

６　「（９）情報開示の状況」には、「福祉系高等学校等の設置及び運営に係る指針について（平成20年３月28日19文科初第1403号・社援発第0328004号）」に定められた内容すべてについて、ホームページを用いて公開している場合に「有」を「○」で囲むこと。

また、その他の方法により情報開示を行っている場合には、その方法を記載すること。

２　当該年度の学年別生徒数等

（１）当該年度の入試状況

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 第１学年の  入学定員  【a】 | 受験者数 | 合格者数 | 入学者数  【b】 | 充足率  【b/a×100】 |
|  |  |  |  |  |

（注）　１　「受験者数」には、受験申込を行った者のうち、受験者の人数を記載すること。

　　　　２　「入学者数」には、入学手続を行った者のうち、当該年度５月１日時点までに入学を辞退した者を除いた人数を記載すること。

３　それぞれ記載する人数には留学生も含むこと。

（２）留学生の入学状況

|  |  |
| --- | --- |
| 出身国の内訳 | |
| 国名 | 人数 |
|  |  |
|  |  |
|  |  |
| 合計 |  |

（注）　上記は、（１）における留学生の状況を記載すること。

（３）学年別生徒数

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 学年 | 各学年の定員 | 在籍者数 |
| 第１学年 |  |  |
| 第２学年 |  |  |
| 第３学年 |  |  |
| 第４学年 |  |  |
| 合計 |  |  |

（注）　１　 本表は、当該年度５月１日時点の状況について記載すること。

　　　　２　単位制による課程の生徒については、在学すべき期間をもって便宜相当する各学年の欄に記載すること。

３　「在籍者数」には、留年者・編入者等を含むこと。

（４）生徒１人あたりの負担金

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 費目 | 第１学年 | 第２学年 | 第３学年 | 第４学年 | 合計 |
| 入学検定料 |  |  |  |  |  |
| 入学金 |  |  |  |  |  |
| 授業料 |  |  |  |  |  |
| 実習費 |  |  |  |  |  |
| 施設維持費 |  |  |  |  |  |
| その他諸費 |  |  |  |  |  |
| 合計 |  |  |  |  |  |

３　前年度における教育の実施状況等

（１）法第40条第２項第４号の規定による福祉系高等学校等（専攻科及び別科を除く。）

（第　学年）

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 教科 | 科目 | 指定規則上の単位数 | 学則上の単位数  【a】 | 実授業単位数  【b】 | 学則上の単位数との差  【b-a】 |
| 福祉 | 社会福祉基礎  介護福祉基礎  コミュニケーション技術  生活支援技術（医療的ケアを含む。）  介護過程  介護総合演習  介護実習  　（介護実習Ⅰの計）  　（介護実習Ⅱの計）  こころとからだの理解 | 単位  ４  ５  ２  10  ４  ３  13  -  ５単位以上  ８ | 単位 | 単位 | 単位 |
| 小計 | | 49 |  |  |  |
| 公民、数学、理科又は家庭 | 人間と社会に関する選択科目  （科目名：　　　　　　） | ４ |  |  |  |
| 小計 | | ４ |  |  |  |
| 合計 | | 53 |  |  |  |

（注）　１　本表は、各学年ごとに作成すること。

２　「学則上の単位数」には、学年ごとに組まれた授業科目の単位数を記入すること。なお、当該学年で行われなかった授業科目の「学則上の単位数」、「実授業単位数」には、「－」を記入すること。

　　　　３　各科目の単位数は、１単位時間を50分とし、35単位時間の授業を１単位として計算することを標準とする。

　　　　４　「実授業単位数」には、自習時間等を除いた単位数を記載すること。

（２）法第40条第２項第４号の規定による福祉系高等学校等（専攻科（修業年限が２年以上のものに限る。））

（第　学年）

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 科目 | 指定規則上の単位数 | 学則上の単位数  【a】 | 実授業単位数  【b】 | 学則上の単位数との差  【b-a】 |
| 社会福祉基礎  介護福祉基礎  コミュニケーション技術  生活支援技術（医療的ケアを含む。）  介護過程  介護総合演習  介護実習  （介護実習Ⅰの計）  （介護実習Ⅱの計）  こころとからだの理解  人間と社会に関する選択科目  （科目名：　　　　　　　　　　） | 単位  ４  ５  ２  10  ４  ３  13  -  ５単位以上  ８  ４ | 単位 | 単位 | 単位 |
| 合計 | 53 |  |  |  |

（注）　１　本表は、各学年ごとに作成すること。

２　「学則上の単位数」には、学年ごとに組まれた授業科目の単位数を記入すること。なお、当該学年で行われなかった授業科目の「学則上の単位数」、「実授業単位数」には、「－」を記入すること。

　　　　３　各科目の単位数は、１単位時間を50分とし、35単位時間の授業を１単位として計算することを標準とする。

　　　　４　「実授業単位数」には、自習時間等を除いた単位数を記載すること。

（３）法附則第２条第１項各号の規定による特例高等学校等（専攻科及び別科を除く。）

（第　学年）

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 教科 | 科目 | 指定規則上の単位数 | 学則上の単位数  【a】 | 実授業単位数  【b】 | 学則上の単位数との差  【b-a】 |
| 福祉 | 社会福祉基礎  介護福祉基礎  コミュニケーション技術  生活支援技術（医療的ケアを含む。）  介護過程  介護総合演習  介護実習  こころとからだの理解 | 単位  ４  ４  ２  ７  ３  ２  ４  ５ | 単位 | 単位 | 単位 |
| 小計 | | 31 |  |  |  |
| 公民、数学、理科又は家庭 | 人間と社会に関する選択科目  （科目名：　　　　　　） | ４ |  |  |  |
| 小計 | | ４ |  |  |  |
| 合計 | | 35 |  |  |  |

（注）　１　本表は、各学年ごとに作成すること。

２　「学則上の単位数」には、学年ごとに組まれた授業科目の単位数を記入すること。なお、当該学年で行われなかった授業科目の「学則上の単位数」、「実授業単位数」には、「－」を記入すること。

　　　　３　各科目の単位数は、１単位時間を50分とし、35単位時間の授業を１単位として計算することを標準とする。ただし、通信制の課程における介護実習以外の単位数については、添削指導３回及び面接指導２単位時間（１単位時間を50分とする。）を１単位として計算することを標準とする。

　　　　４　「実授業単位数」には、自習時間等を除いた単位数を記載すること。

（４）法附則第２条第１項各号の規定による特例高等学校等（専攻科（修業年限が２年以上のものに限る。））

（第　学年）

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 科目 | 指定規則上の単位数 | 学則上の単位数  【a】 | 実授業単位数  【b】 | 学則上の単位数との差  【b-a】 |
| 社会福祉基礎  介護福祉基礎  コミュニケーション技術  生活支援技術（医療的ケアを含む。）  介護過程  介護総合演習  介護実習  こころとからだの理解  人間と社会に関する選択科目  （科目名：　　　　　　　　　　） | 単位  ４  ４  ２  ７  ３  ２  ３  ５  ４ | 単位 | 単位 | 単位 |
| 合計 | 34 |  |  |  |

（注）　１　本表は、各学年ごとに作成すること。

２　「学則上の単位数」には、学年ごとに組まれた授業科目の単位数を記入すること。なお、当該学年で行われなかった授業科目の「学則上の単位数」、「実授業単位数」には、「－」を記入すること。

　　　　３　各科目の単位数は、１単位時間を50分とし、35単位時間の授業を１単位として計算することを標準とする。ただし、通信制の課程における介護実習以外の単位数については、添削指導３回及び面接指導２単位時間（１単位時間を50分とする。）を１単位として計算することを標準とする。

　　　　４　「実授業単位数」には、自習時間等を除いた単位数を記載すること。

４　前年度における教員及び実習指導者の異動の状況

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 区分 | 新任・退任の別 | 主任者 | １人以上必要な教員 | | | | 実習区分 | 氏名 | 担当科目名 |
| 介  護 | 人間と社会 | こころとからだのしくみ | 医療的ケア |
| 必置教員 | 新任 |  |  |  |  |  |  |  |  |
| 退任 |  |  |  |  |  |  |  |  |
| その他の教員 | 新任 |  |  |  |  |  |  |  |  |
| 退任 |  |  |  |  |  |  |  |  |
| 実習指導者 | 新任 |  |  |  |  |  | 実習Ⅰ　・　実習Ⅱ |  |  |
| 退任 |  |  |  |  |  | 実習Ⅰ　・　実習Ⅱ |  |  |

（注）　１　本表は、前年度４月２日から当該年度４月１日までの間における教員、その他の教員、実習指導者の異動の状況について記載すること。

２　「主任者」、「１人以上必要な教員」「医療的ケアを担当する教員」（基本研修、演習、実地研修）には、該当するものにそれぞれ「○」を記載すること。なお、兼務している場合にあっては、兼務している全ての項目について「○」を記載すること。

　　　　３　「実習区分」には、該当するものを「○」で囲むこと。なお、実習Ⅰ及び実習Ⅱのいずれにも該当する場合には、実習Ⅰ及び実習Ⅱの両方を「○」で囲むこと。

　　　　４　「担当科目名」には、担当している科目の名称を記載すること。

５　前年度における卒業生の状況

（１）卒業生の状況（留学生を含む全体）

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 前々年度までの  卒業生の累計  【a】 | 前年度の卒業生数  【b】 | 左記前年度卒業生が  入学した年度の  入学者数  【c】 | 増減  【c-b】 | 卒業生の合計  【a+b】 |
|  |  |  |  |  |

（２）留学生の卒業状況

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 前々年度までの  留学生の卒業生の  累計  【a】 | 前年度の留学生の  卒業生数  【b】 | 左記前年度留学生の卒業生が入学した  年度の入学者数  【c】 | 増減  【c-b】 | 卒業生の合計  【a+b】 |
|  |  |  |  |  |

（３）介護福祉士国家試験の受験状況（留学生を含む全体）

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 前年度の卒業者数  【a】  ※（１）の【b】と同数 | 受験者数  【b】 | 受験率  【b/a×100】 |
|  |  |  |

（４）介護福祉士国家試験の合格状況（留学生を含む全体）

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 受験者数  【a】 | 合格者数  【b】 | 合格率  【b/a×100】 |
|  |  |  |

（５）留学生の介護福祉士国家試験の受験状況（（２）における留学生の状況）

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 前年度卒業者数  【a】 | 受験者数  【b】 | 受験率  【b/a×100】 |
|  |  |  |

（６）留学生の介護福祉士国家試験の合格状況（（２）における留学生の状況）

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 受験者数  【a】  ※（４）の【b】と同数 | 合格者数  【b】 | 合格率  【b/a×100】 |
|  |  |  |

（注）　１　「受験者数」には、前学年度の卒業生のうち、介護福祉士国家試験の受験者数を記載すること。

　　　　２　「合格者数」には、前学年度の卒業生のうち、介護福祉士国家試験の合格者数を記載すること。

　　　　３　留学生の記載方法も上記のとおりとすること。

（７）前年度卒業生の進路

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 就職先 | | 卒業生数 |
| ①居宅サービス事業所等（共生型事業所、基準該当事業所を含む。） | |  |
| ②介護保険施設 | |  |
| ③障害福祉サービス事業所（共生型事業所、基準該当事業所を含む。） | |  |
| ④障害者支援施設 | |  |
| ⑤保護施設 | |  |
| ⑥児童福祉施設 | |  |
| ⑦社会福祉協議会 | |  |
| ⑧①～⑦以外の福祉関係 | |  |
| ⑨公務員 | 国 |  |
| 都道府県 |  |
| 市（区）町村 |  |
| ⑩医療機関 | |  |
| ⑪他産業 | |  |
| ⑫進学 | |  |
| ⑬未就労 | |  |
| 合計 | |  |

（注）　１　本表は、通信課程については省略できること。

２　「卒業生数」には、働きながら養成施設等に在籍している生徒であって、在籍時と同じ職場で働き続ける者も含むこと。

３　「合計」には、５の（１）のｂ欄と一致させること。

６　その他添付資料について

　当該年度４月１日現在の学則及び教育課程表を添付すること。